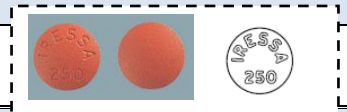


イレッサ錠について

□ イレッサ錠 (Iressa tablets)

商品名：イレッサ錠 250

成分名：ゲフィチニブ (Gefitinib)



□ イレッサの内服開始にあたって

イレッサは、がん細胞を減らしたり、増殖を抑えたりする薬（抗がん剤）です。

今後服用を継続していく上で、この薬で出やすい副作用を理解しておくことは非常に大切です。

薬のことをよく理解し、上手に付き合ってください。

何か異常を感じた際は我慢したり、ご自分の判断で中止したりせず、医師・薬剤師に必ずご相談ください。

□ がん細胞に対するイレッサのはたらき

がん細胞は、体内でがん細胞の成長や増殖を促す信号が出され、がん細胞に伝えられることにより異常に増殖します。またがん細胞はさかんに増殖するために多くの酸素や栄養等を必要とし、自らそれらを供給させる血管を新たに作り出させるはたらきを持っています。イレッサはその信号の伝達を司るタンパク質（EGFR と呼ばれている）のはたらきを妨げたり、がん細胞にとって重要な血管が作られるのを阻止したりすることで、がん細胞の増殖を抑える薬です。

□ 服用上の注意

- ・薬剤を十分に体内に吸収させるため、1日1回食後に内服するのが望ましい薬です（医師の指示通り）。
- ・飲み忘れた場合、決して2回分を一度に飲まないでください。
- ・胃酸の分泌を抑える薬（ランソプラゾール[®]、ネキシウム[®]、ファモチジン[®]など）を飲んでいると、イレッサの吸収が著しく悪くなる可能性があるため注意が必要です。胃薬を飲まれている場合は伝えて下さい。
- ・セント・ジョーンズ・ワート（セイヨウオトギリソウ）含有食品と一緒に飲むと、お薬の効果が弱くなる可能性があります。
- ・グレープフルーツジュースを飲むと、お薬による副作用が出やすくなる可能性があります。

□ 副作用とその対策

副作用は恐れるのではなく、理解を深めて、うまくコントロールすることが一番大切です！

あまり出ることはないが、特に注意が必要なもの

【**間質性肺炎**】… 咳がでる、息切れがする

内服開始後に息切れ、呼吸のしにくさ、咳、発熱が現れたときには急性肺障害、間質性肺炎の可能性がります。生命に関わる副作用なので、異常を感じたら放置せず、速やかに連絡・受診をしてください。

比較的に出やすいもの

症状が出たら、主治医に伝えてください。

【**発疹等の皮膚の異常**】… 発疹、痒み、皮膚乾燥

薬の内服を開始したら発疹を予防するため、保湿クリーム等を塗り皮膚の乾燥を防いでいきます。保湿クリームは市販のものでも構いません。症状が出た場合は、必要に応じてステロイドという種類の軟膏などを塗り症状の軽減・改善を図ります。洗剤で手が荒れないよう、皿洗いをする時などは手袋を装着しましょう。足に負担がかからないよう、窮屈な靴をはかないようにする等の対応も必要です。

【**下痢**】

飲み始めて一ヶ月の間に出やすい副作用です。下痢の症状が続く場合は、水分を多めにとって脱水を防ぎましょう。症状によっては、下痢止めを内服する場合があります。

【**爪の障害**】爪の周りの腫れ、痛みなど

保湿剤を手・足の爪周囲に塗ることで、爪の障害を予防します。症状が出た場合は、必要に応じてステロイドという種類の軟膏などを塗り症状の軽減・改善を図ります。

【**口内炎**】

うがいをまめに行ったり、優しく歯磨きをしたりして口の中を清潔に保つよう努めましょう。

その他

肝機能障害（採血により確認していきますので、ご安心ください）、食欲不振 など

□ 保管上の注意

- ・直射日光を避け、室温で保管してください。
- ・妊婦が誤って飲むと胎児に奇形が生じる恐れがあります。他の人が誤って飲むことがないように、注意してください。

ご不明な点につきましては御気軽にお尋ねください。わたしたちがサポートします。

静岡市立清水病院 薬剤部 電話番号 054 - 336 - 1111（代表）

《 医療機関の方々へ がん化学療法に関するご説明・同意取得済みです 》